

2024年3月1日
株式会社三菱UFJ銀行

大成建設株式会社と「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ほんざわ じゅんいち 半沢 淳一（以下、当行））は、大成建設株式会社（代表取締役社長 相川 善郎、以下、同社）との間で、ローン・マーケット・アソシエーション^[1]（以下、LMA）等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるタームローン契約（以下、本ローン）を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件とSPTに対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

同社は2023年3月に環境方針を改定し、同社グループの長期環境目標「TAISEI Green Target 2050」に「脱炭素社会 | カーボンニュートラル」「循環型社会 | サーキュラーエコノミー」「自然共生社会 | ネイチャーポジティブ」の3つの社会の実現・深化と、2つの個別課題「森林資源・森林環境」「水資源・水環境」を定め、その達成と解決に向けて様々な取組みを進めています。

【本ローンの概要】

契約締結日	2024年2月27日
貸付人	株式会社三菱UFJ銀行

KPI：CDP 気候変動スコア

SPT：CDP スコアにおいて、リーダーシップレベル（A または A-）を維持

また、本ローンでは、株式会社格付投資情報センターより、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定したSPTの合理性について第三者意見を取得しています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取組みを進めています。引き続き、お客さまのESGの取組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に65ヶ国以上約800機関が加盟。

以上